

(別紙)

【水産業共同利用施設復興促進整備事業計画の実績に関する評価様式】

事業番号	15-3
事業名	小名浜地区作業保管施設整備事業（漁具倉庫施設）
事業費	509,000 千円（国費 349,937 千円） (内訳：調査測量費 4,700 千円、実施設計費 8,300 千円、監理業務費 3,000 千円、工事費 493,000 千円)
事業期間	令和 5・6 年度
事業目的・事業地区	<p>・事業目的 本市は、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により水産業施設などに甚大な被害を受けたものの、同年 8 月から回遊性魚種を水揚げする沖合漁業を再開している。</p> <p>しかし、震災前は、本市の水揚量のうち、他県船の水揚げが大きな割合を占めていたものの、福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の影響により、他県船による水揚量が低迷している状態にある。</p> <p>小名浜港は、サバ・イワシ漁の漁場へのアクセスが良く、かつ大型漁船も可能な水深を有しているが、自県船以外の網倉庫が整備されていない。</p> <p>このことから、新たな網倉庫を整備することで、他県船の受け入れを行い、小名浜港への水揚量を増加させ、ひいては、本県及び本市の水産業の振興を図る。</p> <p>・事業地区 いわき市小名浜字栄町地内</p>
事業結果の概要、目標の達成状況	<p>・事業結果概要 小名浜地区作業保管施設（漁具倉庫施設）本体・外構施設（実施主体：福島県旋網漁業協同組合）</p> <p><令和 5 年度> 調査測量業務、実施設計業務</p> <p><令和 5・6 年度> 建築・外構工事業務、工事監理業務</p> <p>詳細は、別添資料のとおり</p> <p>・目標達成状況 3 区画のうち 1 区画は静岡県の事業所と契約（R7.1）。営業を続けているが、2 区画は当面地元の事業所と契約 (水揚量については、令和 7 年のデータが評価時点では未確定)</p>

事業の実績に関する評価

①事業成果の活用状況に関する調査・分析・評価

本市は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の影響により、他県船の水揚げが低迷していることから、本事業により小名浜港に新たな網倉庫を整備し、他県船の水揚量の増を目指した。

竣工してから1年が経過した現在、網倉庫の全区画が契約済（うち1区画は他県事業所）であり、今後の水揚量の増加によって、漁業者をはじめ、水産加工業者、小売・飲食店などに好影響を与え、地域活性化が図られるものと期待されている。

②コストに関する調査・分析・評価

本事業は、実施設計・監理と工事を別々の事業者と適切に契約をした。事業実施前には、福島県旋網漁業協同組合や水産関係者等との事業計画等の協議を行い、設計過程においても、状況確認を適宜行いながら、施設規模等の整備内容や事業費等の精査を重ねたことにより、整備内容は妥当なものである。

施設整備後は、同組合が適切に管理運営を行っており、また、施設の活用が図られている。

③事業手法に関する調査・分析・評価

建設予定地（県有地）の地下埋設物への対応、建築資材の納期遅延、工事従事者の確保難等のため、着工遅延及び工期延長により竣工が8月程遅れたものの、設計・工事の各段階での関係者との状況確認及び協議の内容を施設整備に反映させ、効率性を図りながら事業を進めることができたことから、事業手法については妥当である。

事業担当部局

農林水産部水産振興課 電話番号：0246-22-7487